

10歳からのニュース学習誌

月刊

ニュースがわかる

家族で読める! 受験に役立つ!

NEWSがわかる

N検 NEWS
時事能力検定

ニュース検定 入門編模擬問題を掲載

2011

定価 **330円**

4月号

新連載

まんが「少女記者マイちゃん」
インタビュー「マイちゃんの記者修行」
写真コラム「見上げてごらん」



好評連載

まんが「トツポちゃんのなぜ?なに?日本日記」
「おしえて!!ニュースワカル教室」
冒険エッセー「世界一の旅」
「実験算数脳!!」

特集

小6の4人に1人、中2の半数が持っている

ケータイとびびっぴっぴき合ロっか

- 渡り鳥が運んでくる? 鳥インフルエンザ
- アラブ世界で民主化のうねり
- 上野にパンダ再び
- どこまで伸びる中国経済
- 2月のNewsファイル



たかはま
高浜
先生の

実験算数脳!!

今月の一題

Q シロクマ2頭とウサギ2羽、オオカミ1匹が、ア島からイ島にいかだで渡ろうとしています。いかだは2人乗りですが、シロクマが2頭一緒に乗ると沈んでしまいます。また、ウサギは1羽になるとさびしくて病気になってしまい、オオカミとウサギだけになるとウサギが食べられてしまいます。これは、いかだの上でも同じです。さて、最も少ない回数で移動するには、どうすればよいでしょうか。



■考える力がつく 算数脳パズル
なぜペ〜③

年長から小学3年まで楽しめる思考力系の問題を幅広く掲載。「考え抜くこと」「発想すること」「ひらめくこと」の楽しさを体感できる一冊。(草思社、1,155円)

ポイント解説



算数ができる子は、このような一見、難しい問題に出合った時、まず手が動いています。図を描いたり表を作ったりすることで、解くために必要な条件や法則を見つけ、正解を導き出しています。

この問題を解くために必要なのは、あれこれ試す力(試行錯誤能力)です。試行錯誤をしなければ、いい発想が浮かんだり、解き方がひらめいたりすることはありません。難問の場合には、計算力以上に試行錯誤能力によって大きな差がつくのです。

今月の おすすめ! BOOK

■考える力がつく 算数脳パズル なぜペ〜③

年長から小学3年まで楽しめる思考力系の問題を幅広く掲載。「考え抜くこと」「発想すること」「ひらめくこと」の楽しさを体感できる一冊。(草思社、1,155円)

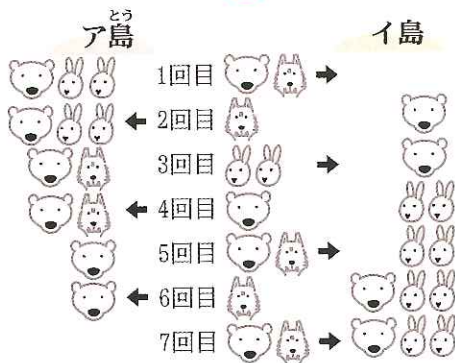


5人にプレゼント!

「算数脳パズルなぜペ〜③」のプレゼント希望者は、はがきに氏名、住所、年齢を書いて、〒100-8051毎日新聞社 月刊「Newsがわかる」算数脳4月号プレゼント係あてに4月10日までに応募してください。応募多数の場合は抽選となります。

今月のこたえ

A



- ①シロクマとオオカミがイ島に行く
 - ②オオカミがア島に戻る
 - ③ウサギ2羽がイ島に行く
 - ④シロクマがア島に戻る
 - ⑤シロクマとオオカミがイ島に行く
 - ⑥オオカミがア島に戻る
 - ⑦シロクマとオオカミがイ島に行く
- (③と⑤を入れかえてもOKです)

「最も少ない回数」とあるので、「行きは2匹」「帰りは1匹」で移動しなければいけません。「シロクマがいればウサギはオオカミに食べられない」「ウサギは2羽一緒にいかだに乗ればよい」などの条件を発見し、答えを導きましょう。

高浜正伸プロフィール

1959年熊本県生まれ。東京大学卒・同大学院修了。93年「花まる学習会」、95年「スクールFC」設立、現在「花まるグループ」代表。98年算数オリンピック委員会理事に。「小3までに育てたい 算数脳」(健康ジャーナル社)など著書多数。

高浜先生の情報はコチラ!

高浜先生の今後の無料講演会の日程や、高浜先生が運営する学習塾「花まる学習会」「スクールFC」の情報をご覧になることができます。
<http://www.hanamarugroup.jp/>

